

# 新たな年に

令和三年一月 小野町議会議長 田村 弘文



明けましておめでとうございませう。町民の皆さんにおかれましては、ご家族と共に輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より議会活動に特段のご指導とご協力ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は私ども議員の任期満了に伴う選挙が1月に執行され、女性議員2人を含む4人の新しい議員を迎え、総勢12人の議員で議会構成を行い、町民の皆さんの負託に応えるべき活動をすることを申し合わせました。

しかしながら、改選後の初議会以降、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、

全国において一時緊急事態宣言が発出され、学校の一時休業、外出自粛、経済活動などの制約など、今までに経験したことのない生活スタイルが求められ現在に至っており、日常の行動が制約される不自由な生活が今年も続くことが懸念されます。

早いもので、今年の3月で東日本大震災・福島第一原子力発電所事故から10年になります。福島県全体の日常生活が、原子力災害以前のようにするにはまだまだ時間が必要であります。町においては、令和元年東日本台風(台風第19号)による河川被害も復旧の半ばであります。

このような暗い話題が多々ある中で、昨年2月に小野町議会が、長年の議会活動および議会改革への積極的な取り組みが評価され、全国926町村で構成する全国町村議会議長会から、全国の町村議会でも唯一

特別表彰を受賞することができました。受賞を機に、昨年はコロナ禍の中、県内や千葉県などから多くの議会が小野町議会の取り組みなどについて視察に来町しました。今回の特別表彰は、今日の議会活動の基礎を作っていたいた諸先輩方・議会活動を温かく見守っていただいた町民の皆さんおよび町当局のご支援により荣誉にあずかったものとあらためて感謝申し上げます。

今、町では道路、河川改修などインフラ整備が急ピッチで進んでおり、ここ数年で町の様相が大きく変わるものと思われま。一方、昨年4月から新しく小野小学校が開校し、幼児施設においても令和4年4月から認定こども園が民設民営で開園します。幼児、児童、生徒の教育環境の整備が整い、今後は町の教育レベルの向上が期待されます。

今後、少子高齢化、人口減少が一段と進むことが懸念される中、町が掲げる持続可能な町づくりを達成するには、町民、行政、議会の三位一体で対処することが必要であります。私ども議会も積極的に課題に取り組み、町民の皆さんが安心して暮らせる町づくり、希望の持てる町づくりに全議員一丸となり取り組んでまいります。今後ともより一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに町民の皆さんのご多幸とご活躍をご祈念しまして新年の挨拶とさせていただきます。



**謹賀新年**

小野町議会議長	田村 弘文	議員	久野 峻
副議長	竹川 里志	議員	水野 正廣
		議員	宗像 芳男
		議員	吉田 康市
		議員	会田 明生
		議員	渡邊 直忠
		議員	先崎 勝馬
		議員	緑川 久子
		議員	中野 孝一
		議員	会田百合子